

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		決勝トーナメント(準決勝)			
日時	平成15年8月 24日 (日)		9:30 ~		
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Dコート	第1試合	
結果	猪子石	14 - 9	12 - 15	42	東京成徳
	(愛知)	8 - 9	12 - 9		(東京)
主審	大家 一 (本部)		副審	中原 淳子 (岡山)	

【個人トータル表】

猪子石(愛知)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	吉田 千沙	8	0	4	0	1
5	和田 静香	11	1	3	2	3
6	菅沼 夏菜	7	0	3	1	3
7	内藤 しずか	14	0	5	4	3
8	浦 友紀菜					
9	上村 美由希					
10	籠橋 あかり					
11	荒川 真寿美	6	2	0	0	1
12	細江 真子					
13	木原 穂奈美					
14	河合 紗希					
15	片野 怡帆					
16	後藤 彩					
17	後藤 美紀					
18	中野 真希					
	合計	46	3	15	7	11

東京成徳(東京)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	有山 景子	6	0	3	0	4
5	川村 美穂	6	0	2	2	5
6	板坂 優貴	0	0	0	0	0
7	山田 菜美	16	1	5	3	2
8	津野田 麻恭					
9	光山 慈能	5	0	2	1	1
10	天野 佳代子	9	0	4	1	4
11	長谷川 香奈					
12	富田 夕貴					
13	片山 浅美					
14	藤澤 美里					
15	川鍋 早紀					
16	本山 純子					
17	河合 弥耶					
18	間宮 佑圭					
	合計	42	1	16	7	16

【戦評】

激戦の予選リーグを1位で通過、決勝トーナメントも危なげなく勝ち進み勢いに乗る猪子石中、高さスピードを武器に初日から圧倒的な強さを見せてきた東京成徳中との対戦。注目の女子準決勝である。

1クォーター、猪子石ハーフマンツー、成徳オールコートマンツーでスタート。やや硬さの見える猪子石はバスミスが続きなかなかシュートまでいけない。一方の東京成徳は開始そうそうに得たフリースローを#5川村が2本とも決め、順調な滑り出しを見せる。しかし、残り4分成徳#4有山が早くも3ファウルとなり交代。逆に猪子石は#4吉田のミドルシュートなどで加点、14-9と猪子石5点リードで1クォーターを終了。

2クォーター、成徳はインサイドを中心にゴールを決める。猪子石も#6菅沼がドリブルで果敢に攻めるが、ミスも多く3分以上ノーゴールが続く。しかし残り3分、猪子石#11荒川が3Pを決めると、ゲームは再び動き出す。一進一退の攻防となり猪子石26-24成徳で前半終了。

3クォーター、両チームとも厳しいディフェンスでお互い簡単にゴールを許さない。猪子石がオフェンスリバウンドに懸命に飛びつき、やや有利になると思われたが、成徳も#4有山がドライブインを決めるなどして喰らいついていく。猪子石34-33成徳で終了。

4クォーターも緊迫したゲームが続く。猪子石#7内藤がリバウンドシュートを決めると、すぐさま成徳#7山田がドライブインから得点し一歩も譲らない。勝負は最後までもつれたが、残り1分猪子石#5和田が0°からのシュートを決める。さらに残り30秒、同じく#5和田が3Pを決め45-40と5点までリードを広げる。成徳も#4有山が2点を返し、激しいオールコートプレスからボールを奪いにいく。猪子石のミスを誘うも、追いつくことはできなかった。決勝進出をかけた大一番は46-42で猪子石が勝利した。

両チームとも激しいディフェンスと高い集中力でプレーし続け、準決勝にふさわしい素晴らしいゲームとなった。

津田 政明(札幌北栄)

【トーナメント戦績】

